

既存化学物質審査物質(人健康影響・生態影響)  
に係る分解性・蓄積性データ

平成 1 8 年 1 月 1 3 日

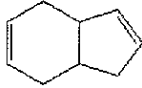
## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1H-インデン [官報公示整理番号:4-581]	平成10年12月28日	高濃縮性ではないと判断される物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	3048-65-5
点検対象物質名称	3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1H-インデン

官報公示整理番号	官報公示名称
4-581	4, 7, 8, 9-テトラヒドロインデン

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD
	0%

直接測定	GC
	2%

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>26.0mg/L	(26)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
揮発	8週間	コイ	3.6

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100µg/L	102 ~ 285
第2濃度区	10µg/L	160 ~ 335

総合検索システムへ  
3048-65-5

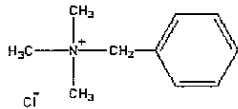
## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ベンジルトリメチルアンモニウムクロリド	昭和59年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	56-93-9
点検対象物質名称	トリメチルベンジルアンモニウムクロリド

官報公示整理番号	官報公示名称
3-2694	ポリ(1~3)アルキル(又はアルケニル, C=1~20)ポリ(3~1)ベンジルアンモニウム

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	1%		2%	0%

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>1000ppm	(1000)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	4.5

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2ppm	<0.2
第2濃度区	0.2ppm	<1.5

総合検索システムへ  
56-93-9

既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
チオフェン	昭和57年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	110-02-1
点検対象物質名称	チオフェン

官報公示整理番号	官報公示名称
8-810	チオフェン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	14日間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	UV-VIS
	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
15.6ppm	(15.6)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	4.8

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	150ppb	(1.8) ~ (3.2)
第2濃度区	15ppb	<9.0

総合検索システムへ  
110-02-1

## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
テトラヒドロチオフェン-1, 1-ジオキサイド	昭和52年11月30日	分解性が良好でないと判断される物質
テトラヒドロチオフェン-1, 1-ジオキサイド	昭和52年11月30日	濃縮性が無い又は低いと判断される物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	126-33-0
点検対象物質名称	テトラヒドロチオフェン-1, 1-ジオキサイド

官報公示整理番号	5-77	官報公示名称	テトラメチレンスルホン
----------	------	--------	-------------

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	GC
	10.1%		*(-)%	*(-)%

備考

\*負の値を得たので(-)とした。  
\*間接定量において見かけ上10%の分解度を示しているが、これは基礎呼吸が低い値を示しているためであり直接定量では分解を示していない。

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
2450ppm	(2450)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2.5ppm	(0.4) ~ (0.8)
第2濃度区	0.25ppm	<13

総合検索システムへ  
126-33-0

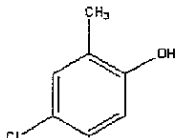
### 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4-クロロ-2-クレゾール	昭和58年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

### 物質情報

構造式



CAS番号	1570-64-5
点検対象物質名称	4-クロロ-2-クレゾール

官報公示整理番号	官報公示名称
3-900	モノメチル-モノクロフェノール

### 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0%		2%	0%

### 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
6.3ppm	(6.3)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	4.9

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	20ppb	8.2 ~ 28
第2濃度区	2ppb	(6.4) ~ (14)

総合検索システムへ  
1570-64-5

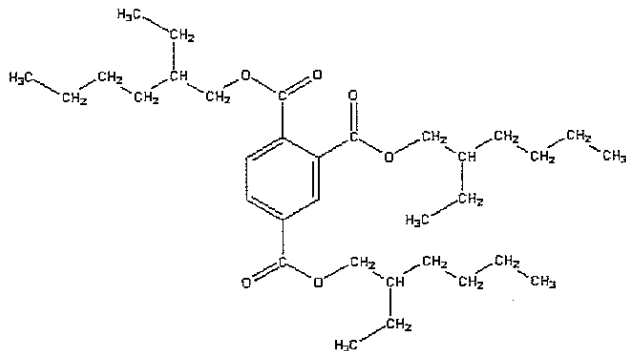
## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ベンゼントリカルボン酸トリス(2-エテルヘキシル)	昭和53年12月12日	濃縮性がない又は低いと判断される物質

## 物質情報

## 構造式



CAS番号	3319-31-1
点検対象物質名称	トリス(2-エテルヘキシル)＝1, 2, 4-ベンゼントリカルボキシラート

官報公示整理番号	官報公示名称
3-1372	トリメリト酸トリアルキル(C=4~11)
3-2684	トリメリト酸トリス-2-エテルヘキシル

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	逆転法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	30ppm	100ppm

間接測定	BOD
	4.2%

直接測定	GC
	3.2%

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	(1000)mg/L	魚種
>1000ppm		ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2ppm	<0.1 ~ (0.23)
第2濃度区	0.2ppm	<1 ~ (2.7)

総合検索システムへ  
3319-31-1

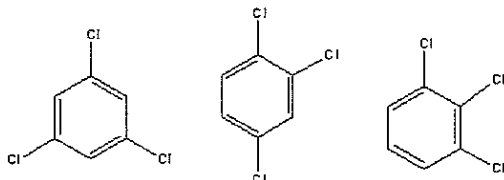
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
トリクロロベンゼン	昭和52年11月30日	分解性が良好でないと判断される物質
トリクロロベンゼン	昭和52年11月30日	濃縮性が中程度と判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	12002-48-1
点検対象物質名称	トリクロロベンゼン

官報公示整理番号	官報公示名称
3-74	トリクロロベンゼン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	GC
	0%		0%

濃縮性

判定	中濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
12.3ppm	(12.3)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

1, 2, 3-体(25ppb)

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100ppb	350 ~ 980
第2濃度区	10ppb	130 ~ 1200

1, 2, 4-体(50ppb)

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100ppb	420 ~ 1140
第2濃度区	10ppb	120 ~ 1320

1, 3, 5-体(25ppb)



	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100ppb	620 ~ 1620
第2濃度区	10ppb	150 ~ 1700

## 備考

・本試験については、1, 2, 3-、1, 2, 4-、1, 3, 5-各トリクロロベンゼンの1:2:1の混合物を用い、濃縮倍率は各異性体ごとに求めた。

---

総合検索システムへ  
[12002-48-1](#)

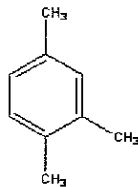
### 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	昭和52年11月30日	分解性が良好でないと判断される物質
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	昭和52年11月30日	濃縮性が無い又は低いと判断される物質

### 物質情報

構造式



CAS番号	95-63-6
点検対象物質名称	1, 2, 4-トリメチルベンゼン
官報公示整理番号	官報公示名称
3-7	トリ又はテトラメチルベンゼン
3-3427	トリアルキル(C=1~4)ベンゼン

### 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	28日間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	GC
	18, 4, 4%		0%

### 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
18ppm	(18)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	8週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	0.2ppm	33 ~ 275
第2濃度区	0.02ppm	(31) ~ 207

総合検索システムへ  
95-63-6

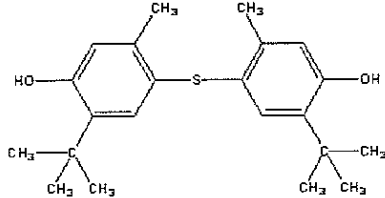
## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4,4'-チオビス(6-tert-ブチル-m-クレゾール)	昭和54年12月20日	濃縮性がないまたは低いと判断される物質

## 物質情報

## 構造式



CAS番号	96-69-5
点検対象物質名称	4,4'-チオビス(6-tert-ブチル-m-クレゾール)

官報公示整理番号	官報公示名称
3-1118	4,4'-チオビス(3-メチル-6-tert-ブチルフェノール)

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	1.9%		0.4%

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>100ppm	(100)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	300ppb	<0.12 ~ 4.2
第2濃度区	30ppb	<1.3 ~ (11)

総合検索システムへ  
96-69-5

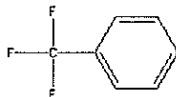
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ペンソトリフルオライド	昭和61年12月27日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	98-08-8
点検対象物質名称	ペンソトリフルオライド

官報公示整理番号	官報公示名称
3-86	ペンソトリフロライド

分解性

判定	難分解性
試験方法	Closed bottle法

Closed bottle法

試験期間	活性汚泥濃度(都市下水処理場返送)
4週間	1滴/L

試験物質濃度	BODによる分解度(%)
2.4ppm	0
11.9ppm	0

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
28.0mg/L	(28)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
揮発	6週間	コイ	4.9

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	100µg/L	26 ~ 54
第2濃度区	10µg/L	31 ~ 58

総合検索システムへ  
98-08-8

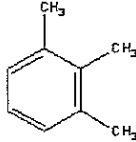
## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
1, 2, 3-トリメチルベンゼン	昭和56年12月25日	濃縮性がない又は低いと判断される物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	526-73-8
点検対象物質名称	1, 2, 3-トリメチルベンゼン

官報公示整理番号	官報公示名称
3-7	トリ又はテトラメチルベンゼン
3-3427	トリアルキル(C=1~4)ベンゼン

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
揮発	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	GC
	0%		6%

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
7.0ppm	(7)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
揮発	8週間	コイ	7

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	150ppb	133 ~ 217
第2濃度区	15ppb	136 ~ 259

総合検索システムへ  
526-73-8

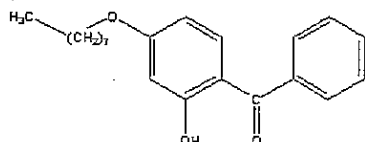
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4-オクチルオキシ-2-ヒドロキシベンゾフェノン	昭和55年12月25日	濃縮性がない又は低いと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	1843-05-6
点検対象物質名称	2-ヒドロキシ-4-n-オクチルオキシベンゾフェノン

官報公示整理番号	官報公示名称
4-141	4-アルキル(C=8~12)オキシ-2-ヒドロキシベンゾフェノン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	HPLC
	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	濃度	魚種
>1.00ppm	(1)mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	60日間	コイ	3.2	3.37

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2µg/L	89 ~ 190
第2濃度区	0.2µg/L	70 ~ 150

備考

[定常状態における濃縮倍率]  
 第2濃度区 99倍  
 ・1回目試験の水槽設定濃度が対水溶解度以上であり、濃度依存性もやみられたため、再試験を行った。

総合検索システムへ  
 1843-05-6

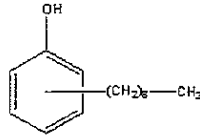
## 既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ノニルフェノール	昭和51年5月28日	濃縮性が無い、あるいは低いと判断される物質

## 物質情報

構造式



CAS番号	25154-52-3
点検対象物質名称	ノニルフェノール
官報公示整理番号	官報公示名称
3-503	モノアルキル(C=3~9)フェノール
政令番号	化学物質排出把握管理促進法名称
1-242	ノニルフェノール

## 分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	GC	UV-VIS	HPLC
	0%		8.9%	5.3%	2.5%

## 濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
0.95ppm	(0.95)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	8週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	0.1ppm	250 ~ 330
第2濃度区	0.01ppm	90 ~ 220

総合検索システムへ  
25154-52-3